



ひらかたエコフォーラム 2008 を開催

2月2日(土) メセナひらかたで「ひらかたエコフォーラム 2008」を開催しました。

昨年に引き続き2回目の開催となった今年度は、“地域とともにすすめる環境活動”をテーマとして、校区コミュニティに加え、市内でよりよいまちづくりを目指し活動している団体やグループ、個人の方々を広く対象とし、約200名の参加者を得て、環境ネットワークを育むワンステップとなりました。

午前は環境表彰と環境活動の取り組み発表、午後はシンポジウム(基調講演・パネルDC)等、また市民活動団体や企業等によるブース展示・パネル展示も行いました。

(2,3ページに関連記事)

目次

ひらかたエコフォーラム 2008	2
エコフォーラムシンポジウム	3
学校林保全活動の報告	4
各部会の活動紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介(エコ手づくりの会)	8

ひらかたエコフォーラム2008

“地域とともにすすめる環境活動”をテーマに

環境表彰受賞によって活動意欲を高める

環境表彰では、環境活動に対する意欲をさらに高めてもらおうと、市内で熱心に環境活動に取り組んでいる団体・事業者、学校園を表彰しました。団体・事業者は市長およびひらかた環境ネットワーク会議理事長より、学校園については優秀賞は市長より、奨励賞は教育長より、それぞれ表彰状が授与されました。併せて枚方市が平成19年度に実施した「緑のカーテンコンテスト」の表彰も行いました。表彰者、団体・事業者、学校園は下記の通り。(順不同・敬称略)

市長から表彰状を授与される学校の代表者



表彰学校園による環境活動の取り組み発表



環境表彰受賞者による取り組み発表が好評

表彰の後、学校園や団体による環境活動の取り組み発表が行われました。他の学校園や団体の事例発表は非常に参考になったという声が多く、参加者アンケートからは「各地区の取り組みが大変良い。私達の地域でもぜひ参考にしたい」、「多くの団体、グループが諸活動を行っていることを知った」、「今後も幅広い活動報告を希望する。小学校、中学校の活動報告を今後も続けると良いと思う」などの声が寄せられました。

参加者は基調講演に釘付け！？

午後2時から、「地域ですすめる環境活動～つくる人の輪・地域の輪～」をテーマにシンポジウムを開催しました。皇學館大学大学院教授 向出佳司氏に基調講演をお願いし、参加者を釘付けにする巧みな話術でスタート。ホワイトボードをたくさんの文字で埋め尽くし、“人生・出会い”という視点から「環境づくり(人づくり)」について全身でご講演いただき、参加者一人ひとりに熱意が伝わる基調講演となりました。この基調講演を受けて、



向出佳司先生

次のパネルディスカッションでは地域での環境活動の実践について考えました。



講演に聞き入る参加者

【環境表彰受賞(7団体)】

明るい社会づくり運動 枚方交野地区協議会	彩(いろいろ)
光善寺東倶楽部	劇団 HALLJACK
ネット3新大阪(株)	枚方エコサイクル
枚方桜花ライオンズクラブ	

【学校園環境表彰受賞(各5団体)】

優秀賞	奨励賞
田口山幼稚園	蹠跏西幼稚園
明倫小学校	蹠跏小学校
平野小学校	春日小学校
中宮中学校	西牧野小学校
招提中学校	蹠跏中学校

【緑のカーテンコンテスト表彰受賞(3名)】

優秀賞	特別賞
亀井 憲一	杉永 祐子
重富 兵二	

シンポジウム

「地域ですすめる環境活動 ～つくろう人の輪・地域の輪～」

地域での実践を本気で考える

基調講演に引き続き行われたパネルディスカッションでは、コーディネーターに松村暢彦氏（当団体顧問 大阪大学大学院工学研究科准教授）、パネリストに井上祥子氏（当団体市民

パネルＤＣの様子



共同発電所プロジェクトリーダー）、川崎忠男氏（津田共有林組合組合長）、末岡妙

子氏（当団体公共交通部会副会長）、竹丸智之氏（地



シンポジウムに耳を傾ける参加者

域活性化推進事業サポーター）の４名をお迎えし、地域で実践している環境活動について報告していただきました。参加者からは「地域力の重要性を再認識した」、「もっと幅広く多くの方に参加してもらいたい」という声が聞かれ、来年度に向けて、早速、新たな課題も見えてきました。

ブース展示・パネル展示

出展団体は、それぞれの環境活動の紹介、成果品の展示等を通して、環境活動の啓蒙に努めました。出展団体と出展内容は下記の通り。（順不同・敬称略）

【ブース展示（８団体）】

大阪ガス(株)	マイホーム発電の実機展示、省エネ機器の紹介
京セラ(株)枚方工場	大型ディスプレイによる環境活動紹介、環境報告書等資料の展示
京阪バス(株)	環境定期券等チケット紹介
御殿山竹遊会	竹細工展示
天の川を清流にする会	展示：新安居川の生物の写真と水槽、新安居川の水質改善活動の写真 体験：水質チェック
枚方エコサイクル	リサイクル自転車の展示
エコ・スマイルひらかた	E M菌やダンボールによる生ゴミ堆肥化の説明
エコ手づくりの会楽々ひろば	展示：牛乳パック、紙筒、エコ石鹸、うちわ、竹・廃材・古布、リサイクル商品 販売：万華鏡・古布・革の小物等 体験：箸の廃材を使用した人形進呈

【パネル展示（８団体）】

全労災大阪府本部共済ショップ枚方	枚方市役所環境総務課	市民共同発電所プロジェクト	ひらかた環境ネットワーク会議
明るい社会づくり運動 枚方交野地区協議会	ネットヨタ新大阪(株)	中宮中学校	招提中学校



天の川を清流にする会



御殿山竹遊会



枚方エコサイクル

ブース展示を見学する参加者

学校林保全活動の報告

蹠陀東小学校

2005年12月からスタートした「蹠陀東小学校学校林保全活動」が、この3月をもって終了しました。今回は、その2年間の活動の歩みをご紹介します。

2年間の作業回数は29回、活動への延参加人数は167名、伐採した枯れ竹668本、間引き伐採した青竹は383本に上りました。その他下草刈や伐採竹の集積作業、また、雑木の名札を調べ名札をつけたり、上部に広がる平坦地の活用を視野にいれ、階段も造りました。

以下、整備されていく様子を写真でご覧下さい。

活動日：第1土曜日、第3土曜日（月2回）

【2005年12月3日スタート～2006年3月31日】

作業回数：6回 参加者数：49名 伐採した竹の本数：枯れ竹265本 青竹59本

作業方針：倒れた竹の搬出及び枯れ竹を中心に伐採、上部の広場の整備、東側の笹の繁殖地は残す。



打ち合わせ風景（作業前）



竹藪（作業前）



松下側東部の藪（作業前）

【2006年4月1日～2007年3月17日】

作業回数：11回 参加者数：80名 伐採した竹の本数：枯れ竹300本 青竹218本

作業成果：

1. 枯れ竹の伐採が終了し、雑木林の中の竹伐採を始めたため青竹伐採数が増えてきた。
2. 雑木の名札付けを行った。「アベマキ」と「クヌギ」の特定ができず。
3. 一段目の平地の作業を終了し、歩行しやすくなった。
4. 竹炭を100袋、竹取物語の会の窯で焼いた。

反省点：

1. 当初考えていた学校側の参加者がいなかった。
2. 参加者の数が増えなかった。
3. 当初の作業が最終段階に入り、月2回の作業を考え直す。



枯れ竹伐採後の竹林

作業前、枯れ竹が倒れた状態、立ち枯れ状態で人が入り、竹の利用、竹の子堀のための手入れが定期的にされていない状態でした。

最初の作業は倒れた竹の搬出、玉きり、集積。次に立ち枯れの竹の伐採。それが終了した時点で、平坦部分の整備に入り、作業の終了段階に入ってきました。木の名札付けを行いました、「アベマキ」と「クヌギ」の特定が今現在できていません。

【2007年4月21日～2008年3月1日】

作業回数：12回 **参加者数**：38名 **伐採した竹の本数**：枯れ竹 103本 青竹 106本

作業方針：2007年度は、東側の松下寄りの藪は手をつけずに残し、西に向かって作業を進める。

1. 中央部分から西の雑木林の中の竹を皆伐する。
2. 一番西端の雑木林の中の竹を間伐する。

伐採以外の作業：

1. 下草刈
2. 葛のつるきり
3. 臯月、梅の剪定
4. 伐採竹の整理
5. 階段作成
6. 樹木の名札付け

作業成果：

広場として活用できる最上部の平坦地まで、作業の安全と今後の登坂に利用するための階段を設置した。



西の境界線近く。下方に細い竹が残っている。上部にはアベマキが生育。中段より上は竹を伐採し雑木林を元気にしたかったが、そこまで作業ができなかった。竹林下部の平坦部分は主として葛、笹が繁殖。人の手が入らなくなれば勢力を回復する。



東部の松下側の最上段。広場の場所が確保できる所。この東奥は枯れ竹を搬出したが、伐採作業はほとんどしていない。この場所まで階段を設置したため登りやすくなっている。北側は一号線が走っているが、子どもにとっては冒険心がわいてくる場所である。



最西端中段、間伐作業後の竹林。地表に太陽があたり、元気な筍が出そうな場所。もう少し間伐作業が必要だった。ここに階段を設置し、安全に上り下りができれば、保全作業もたやすくでき、さらに学習観察にも利用できると思う。

【今後の竹林と雑木林の活用】

1. 春の筍取りを体験し、その筍を食材として利用する。
2. アベマキ（特定できていない）の落ち葉を集め、カブトムシを育てて観察する。その落ち葉は腐葉土として、学校の花壇で肥料として利用する。
3. 梅の木も冬場に剪定し、梅の実を採取して「梅干」作りを体験する。
4. 竹林の間伐は毎年冬場に行う必要がある。これをしない場合は3年位で竹藪になる。
5. 作業中、イタチを数回確認している。

～作業を終えて～

当初より2年間の予定で取り組んできましたが、“学校林の整備”そのものは予定通り終わることが出来ました。しかし“地域住民と共に”という意味では、最後までその願いは叶いませんでした。このことから、環境問題に関心もあり頭でも分かっているが“行動”へと一歩踏み出すということは、簡単なようでいて決して容易ではないことをうかがえました。

●各部会の活動



ごみ・エネルギー部会

ひらかた自然エネルギー学校 (RESH2007) : 第3期ひらかた自然エネルギー学校は2月16日無事終了しました。ご協賛をいただいた諸団体、講師の先生方、運営スタッフの皆様ご協力ありがとうございました。第1~3期修了生およびかかわった運営スタッフは市内外約50名に達しました。皆様は自然エネルギーへの理解、想いが深まり、今後自らの生活環境の改善(省エネ)さらには地球温暖化防止につながる自然エネルギー普及への地域活動の核ともなって大いに活躍していただけるものと期待します。

生ごみ資源化 : 枚方市内小学校給食や大学食堂の残菜、食品会社の残菜、一般家庭生ごみ、剪定枝チップ、馬糞尿などのたい肥化および花壇や農地への還元が、穂谷自然農園で昨年度実証されました。本活動は市内焼却ごみの減量化にもつながる有機性廃棄物(食品残菜ほか)の資源化を目指したもので、「地産地消プロジェクト」の一端を担うものでもあり、本年度も活動の定着、拡大、事業化を探っていきます。

公共交通部会



バス!のってスタンプラリー~春爛漫の桜めぐり~開催 : 公共交通の利用促進と枚方のまち再発見のため、このイベントを開催します。1か月イベント(4月中)と1日イベント(4月6日:特別にひらかた観光ボランティアガイドの協力あり)を行います。

お友達を誘って、ラリーに参加しませんか。

レンタサイクル : レンタサイクル試行も2年目、本格実施に向け調整していきます。

ワークショップ開催 : 2008年度は、歩行者空間の広いくずは駅前広場を、パフォーマンス、花壇、オープンカフェなど、楽しくするにはどうするか、くずは駅前広場を面白くするワークショップを開催します。



環境教育サポート部会

ひらかた環境くらわんか塾 : 平成19年度ひらかた環境くらわんか塾は、2月9日に開催した第8回「地域でのEMS」を終えて、無事修了することが出来ました。今年度は18名の方に「環境教育サポーター認定証」をお渡しすることが出来ました。修了した受講生の方々からは「S-EMS審査だけでなく、色々と環境教育活動のサポートしていきたい」、「また来年度も受講したい」など、うれしいお言葉を頂きました。



ひらかた環境くらわんか塾
最終講座の様子

S-EMSの構築・運用支援 : 今年度も昨年に引き続きS-EMSの審査員を、ひらかた環境くらわんか塾の終了生から7名派遣しました。書類審査と訪問審査を無事に終え、全75学校園が継続認定されました。

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
072・847・2286

平成 20 年度映画上映会のご案内

ひらかた環境ネットワーク会議では、下記の映画の上映会を予定しております。

詳細はひらかた環境ネットワーク会議事務局までお問合せください。

【アース】

日時：7月31日（木）10:30～、14:30～、19:00～

【地球交響曲第1番】

日時：11月6日（木）13:30～、19:00～

場所（共通）：枚方市市民会館大ホール

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局までお申込みください。

「環境のへえ～」 Vol.15

『深夜放送・深夜営業の見直しを』

京都議定書の目標達成に向けて、深夜放送を見直すべきといった意見も出ています。

こうした取り組みは初めてではなくて、オイルショックの際に銀座のネオンサインの早期消灯、テレビの深夜放送休止などによる消費電力の削減が行われています。

では、深夜放送、コンビニの24時間営業、夜間のライトアップなどに対して、多くの人はどんなふうを考えているのでしょうか？

<Yahoo!ニュース -意識調査->

国民の生活スタイル見直しで省エネを

- ・見直した方がいい 83%
- ・見直さなくてもいい 16%
- ・わからない 3%

（実施期間：2007年12月17日～12月23日）

アンケートの結果を見ると、何とかしなくちゃ！と感じている人が圧倒的ですね。

オイルショックを機に、日本は省エネルギーに取り組みました。温暖化を機に……ライフスタイルを見直してみませんか？

< 30秒で読む環境情報！ >



会員の皆様へのお知らせ

ひらかた環境ネットワーク会議 説明会のお知らせ

新会員の方および、ひらかた環境ネットワーク会議の活動にご興味を持ってくださっている一般の方々を対象に、当団体の説明会を行います。これから一緒に活動していく上での顔合わせのつもりで、お気軽にお越しください。

日時：5月1日（木）午前11時～

場所：サプリ村野3階事務局

平成 20 年度総会のお知らせ

「平成20年度総会」を下記の通り開催します。開催案内、議案書、その他詳細は5月中旬に送付させていただきます予定です。会員の方は、ぜひご出席くださいますようお願いいたします。

日時：6月1日（日）

受付開始 午後1時30分

総会開会 午後2時

場所：ラポールひらかた4階大研修室

会員数 222名：正会員 188名（個人 158、非営利団体 18、営利団体 12）

賛助会員 34名（個人 34、非営利団体 0、営利団体 0）

平成 20 年 3 月 31 日現在

団体紹介 コーナー エコ手づくりの会楽々ひろば

会の経緯と目的

初めに石鹸作りを行い、その中でリサイクル活動を通して、多くの人の輪が生まれ、この人の輪を広げる活動の中で障害を持っている方々が参加していたことで地域福祉に関心を持ち福祉活動も行うようになりました。

引きこもりがちな軽度の障害者、高齢者とともによい環境と生活支援する場所に連れ出し、会話や遊び、小物作り、リサイクル活動等を通して交流を深めるとともに、ヘルパー派遣や作業所運営等の生活支援を行い、地域福祉の増進及び環境保全を目的としています。

廃油・牛乳パック・廃材・古布などを利用したエコ製品作り活動

介護事業所 ほしふね 活動

ヘルパーを派遣しながら知的障害者の方を対象としたアートバルーンサークルを立ち上げ、大阪府下の多くのイベントに参加。



地域の方と共に

物づくり活動（月1回）

ひらかたエコフォーラム 出展の様子

2007 年度活動報告

- 3月～5月 国営飛鳥歴史公園にて「古都明日香を覗き見」に参加
 - 4月 万華鏡・6面キューブ作り
 - 5月 切絵「カブト・クワガタ・チョウ・トンボ」など
 - 6月 介護事務所 ほしふね で切絵
 - 7月 第10回七夕サミット出展
 - 8月 交野祭り出展
 - 10月 藤ヶ尾まつり出展
 - 12月 テクテクドンドン出展
介護事務所 ほしふね で小物作り
 - 2月 ひらかたエコフォーラム 2008 出展
長宝寺小学校(ちえのわ教室)でカラーワイヤークラフトによるヘリコプター作り
介護事務所 ほしふね でお雛様作り
 - 3月 交野環境フェスタ 2008 出展
- …など

編集後記

再生紙の古紙含有率の偽装!!

中国において紙の需要が高まり、古紙の品不足、古紙流通価格の高騰が背景にあるのでしょうか。モラルの低下でついに紙までも偽装されるようになりました。この会報誌の再生紙使用マーク(100%)も、今回からはずしました。そういえば最近、チリ紙交換屋さんをみなくなりました。読み終わった新聞や週刊誌を紐でくくっておくと、おじさんがまわってきてトイレトペーパーと交換してくれる。家庭で不要なものから、必要なものを得ることができ、今思えばすごく判りやすいリサイクルでしたね。(小篠 記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第17号

平成20年4月1日発行(年4回発行)

発行:(特活)ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyuu.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyuu.net>

発行責任者: 谷崎 利男

編集責任者: 廣田 武司

この会報誌は古紙再生紙・ソイインクを使用しています。